

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	公共下水道の整備			総合計画コード	543
部名	都市建設部	主管課名	下水道課	主管課部課コード	050500
関連部課名	市民環境部(環境推進課)、都市建設部(まちづくり推進課、道路整備課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	汚水管を整備することにより、トイレの水洗化や公共用水域の水質が保全され、清潔で快適な環境づくりが推進されている。 雨水管の整備や雨水の流出を抑制することなどにより、豪雨時においても浸水被害が少ないまちとなっている。				
施策概要	旧暫定逆線引き地区の公共下水道(汚水管)の整備 下水道未接続世帯の水洗化の促進 浸水しやすい箇所等の改善対策工事等の実施 雨水流出抑制施設の設置に関する指導 下水道施設の適切な維持管理				
個別計画 関連計画	計画名称		計画期間	H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水本管工事 工事延長316.8m</li> <li>・私道排水設備工事補助事業 3件</li> <li>・既設下水道管の維持管理 マンホール蓋交換数:86箇所、</li> <li>・雨水本管工事 工事延長</li> <li>・既設下水道施設、ポンプ場、排水機場の維持管理</li> <li>・開発事業等における指導検査件数: 45件 (流出抑制施設設置状況 浸透トレンチ:1490.2㎡ 浸透柵:20.4㎡ 貯留槽:2052.5㎡)</li> </ul>					
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	下水管の整備により集中豪雨による浸水被害の軽減を図りました。				
	子育てが しやすいまち	水洗化により衛生的な生活環境の改善を図りました。				
	つながりのある 元気なまち	私道の排水設備を住民の方々の協力により行いました。				
	自然・環境に 恵まれたまち	公共下水道の整備により環境保全を図りました。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		1,638,287	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 汚水管整備率 (説明) 事業認可区域面積に対する 整備済面積の割合	%	96.2	96.2	96.3	96.3	96.3
		96.2	—	—	—	—
② 雨水管整備率 (説明) 事業認可区域面積に対する 整備済面積の割合	%	93.7	93.9	93.9	94.0	94.0
		93.7	—	—	—	—

### 3. 施策の分析

<p>達成度  (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ○ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ● C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>汚水管整備、雨水管整備は、ほぼ計画通り進んでいる。</p>
<p>必要性  (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ○ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ● C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明) 公衆衛生の向上、生活環境の改善のため、引き続き汚水管整備等を実施する必要がある。局地的かつ短時間での豪雨が増加傾向にあり、低地において内水被害が発生しており、引き続き雨水対策を行っていく必要がある。また、下水道施設の適切な維持管理を引き続き行う必要がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 今後の汚水管整備が必要な路線は幅員が狭いことから、道路拡幅に併せて工事を実施することになるため、これまでと比較して整備の進捗は緩やかになることが想定されている。また、雨水対策では、貯留槽の設置等の大規模な工事に必要な用地の確保が課題となっている。</p>

### 4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明) ・旧暫定逆線引き地区の市街化区域編入に伴う公共下水道の整備を引き続き行っていく。 ・局所的な豪雨等による浸水被害の発生を抑制するための対策を推進する。 ・開発等において緑地の保全等による雨水の浸透や雨水流出対策を進めていく。 ・老朽化が進む下水道施設の計画的な維持管理・修繕及び改築に関する方策を検討する。</p>																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p>○ I 行政の関与(役割)を拡大 ● II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ○ III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明) 公共下水道は行政が主体となって整備をすることとなるが、各個人や事業所等が水洗化工事を行い接続利用することにより目的が達成されるため、水洗化への周知、啓発に努める。局所的な豪雨等による浸水被害の抑制を図るためには、行政による下水道施設の整備だけでなく、宅地等の雨水を宅地内で浸透させるなど雨水の流出を抑制する対策も重要であることから、引き続き市民への周知、啓発に努める。</p>																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計(単位:千円)</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1						2						3						4						5						計(単位:千円)			—	—	—	<p><input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																						
	H27決算	H28決算見込																																												
1																																														
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
計(単位:千円)			—	—	—																																									
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【外部評価委員会】 ・上下水道の維持・管理については、自己の収支で採算をとる独立採算制により運営しているが、それゆえに資金の補填が難しいことも考えられる。今後、水道管の老朽化に伴う修繕など、支出が増加する可能性があるが、それに対応できるような備えとして、今、将来的な経営の設計図を組み立てておく必要がある。(安全・安心なまちに関する所見より抜粋)</p>																																													
<p>部長の意見</p>	<p>平成25年度から実施している緊急雨水対策はほぼ計画通り完了したが、いまだ局所的な豪雨による浸水被害が各地で発生し、早期の対策実施が求められている。このため、平成28年度に検討を行った対応方針に基づき、浸水地域の住民の理解を頂きながら、速やかに設計及び対策工事を実施するとともに、開発等の際に雨水流出抑制対策を実施するよう促進していく。また、今後の下水道施設の改築・修繕を計画的かつ効率的に実施するため、下水道ストックマネジメント基本計画の策定に平成29年度から取り組む。さらに、下水道事業の経営基盤強化のため、平成32年4月から公営企業会計に移行する上で必要な作業に来年度から着手する。</p>																																													

**施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性**

<b>施策名</b>	公共下水道の整備			<b>総合計画コード</b>	543
<b>部名</b>	都市建設部	<b>主管課名</b>	下水道課	<b>主管課部課コード</b>	050500
<b>関連部課名</b>	市民環境部(環境推進課)、都市建設部(まちづくり推進課、道路整備課)				

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 下水道運営事業	1,040,411	1,008,263	3	3	現状のまま
	2 下水道維持管理事業	127,758	140,263	5	5	現状のまま
	3 汚水管建設事業	103,925	64,357	5	5	現状のまま
	4 私道排水設備工事助成事業	30,054	13,777	5	5	現状のまま
	5 雨水幹線等整備事業	380,739	275,394	5	5	現状のまま
	6 緊急雨水対策事業	180,652	119,302	5	5	H28で休止・廃止・終了
	7 排水機場維持管理事業	22,710	16,931	5	5	現状のまま
	8 合併処理浄化槽設置促進事業	—	—	5	4	現状のまま
	9 地球温暖化対策推進事業	—	—	5	4	現状のまま
	10 都市計画総務事務事業	—	—	5	4	現状のまま
	11 歩道整備事業	—	—	5	4	現状のまま
	12 水路改修事業	—	—	5	4	現状のまま
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	<b>計 (単位:千円)</b>	1,886,249	1,638,287	—	—	—

施策を  
構成する  
事務事業の  
次年度の  
方向性